

2008年地球環境シンポジウム

～気候変動－低炭素社会への挑戦～
「新次元の地球運営のはじまり」



2008年6月14日

ホテル ニューオータニ

国連環境計画・金融イニシアティブ

特別顧問 末吉竹二郎

CO2本位制とは

低炭素社会の姿とは:

『地球の吸収力以内に排出を抑え
より豊かな生活が実現する』

CO2制約の中で最もベネフィットを生む
国家、産業、企業、個人、、、
が、栄えていく

新しい価値観の誕生

- CO2を増やすのは、悪いことだ
 - － 損をする、罰せられる、嫌われる

- CO2を減らすのは、良いことだ
 - － 得をする、褒められる、歓迎される

～炭素効率による、差別化～

新しい国際ルール作り

- Deregulation

 - 20世紀型ルールの退場

- Re-regulation

 - 21世紀型ルールの誕生

新しい基準の誕生

<大きな流れ>

- ハードからソフトへ
- お金から倫理へ
- Tangible から Intangible へ

<新しい基準>

- CO2基準の登場

社会の座標軸の原点が動く

<新しい基準が適用される>

- 政治の責任
- 政権選び
- 政策の中身
- 税制改革
- 投融資の基準
- 消費の選択し
- ライフスタイルの見直し

ビジネス・モデルの入れ替え

- 20世紀型モデルの退場
 - ー 大量生産モデルの行き詰まり
『高炭素型』ビジネスの見直し
- 21世紀型モデルの登場
 - ー 環境と共生するモデルの登場
『低炭素型』への移行

金融の変化

<責任ある投資>

□ 行動する機関投資家

一年金基金の投資基準の変化

株主としての行動

<持続可能な金融>

□ 気候変動問題に取り組む銀行

□ CO2基準の取り込み

排出量取引制度の効用

<Cap & Trade>

- はじめに、キャップありき
 - ー 総量目標を達成できるキャップ
- 市場メカニズムを活用した取引制度
 - ー 厳しい目標を最も効率的に実現



Thank you very much!